

世界貿易投資動向シリーズ

オーストリア

2020年12月8日
海外調査部・ウィーン事務所

2019年の貿易は財の輸出と輸入がともに緩やかに増加したが、輸出額の伸びが輸入額を上回り、貿易赤字が縮小した。直接投資は対内、対外ともに大幅に増加した。対日貿易は、輸出が原料別製品を中心に前年比5.5%増となったが、輸入は0.3%増にとどまった。対日投資は、対外、対内ともに好調だったが、特に対内は16億4,000万ユーロで過去最高額だった。

■輸出・輸入ともに増加、貿易赤字は縮小

2019年の貿易は、輸出が前年比2.5%増の1,537億8,800万ユーロ、輸入が1.2%増の1,579億7,300万ユーロと双方ともに増加した。輸出額の伸びが輸入額を上回り、貿易赤字は前年の59億8,500万ユーロから41億8,500万ユーロに縮小した。

輸出を品目別でみると、最大品目である機械・輸送機器（構成比40.2%）は前年比2.5%増となった。そのうち、通信機器（1.3%）は18.6%減と大きく落ち込んだものの、道路輸送機器（11.1%）が6.2%増（うち乗用車（5.2%）が13.6%増）、一般機械（6.4%）も6.2%増と主要品目が堅調な伸びを示し、機械・輸送機器の輸出増に寄与した。

輸出を国・地域別でみると、全体の7割近くを占めるEU（構成比69.7%）は前年比2.2%増となった。そのうち、ユーロ圏（51.5%）は1.4%増となった一方、最大の輸出相手国であるドイツ（29.4%）は0.2%減となった。対ドイツ輸出の内訳をみると、最大品目である機械・輸送機器（40.8%）が0.2%減となつたほか、鉄鋼などの減少を受け

原料別製品（22.6%）が7.2%減と全体の足を引っ張った。非ユーロ圏（18.2%）は4.2%増で、金額ではユーロ圏への輸出の35%程度だが、非ユーロ圏への輸出拡大がEU全体向けの輸出増に寄与した。

EU域外（構成比30.3%）は前年比3.2%増の465億7,700万ユーロだった。そのうち、最大の輸出先である米国（6.7%）は3.4%減と落ち込んだ。対米

表1 オーストリアの品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送機器	60,239	61,772	40.2	2.5	54,827	56,788	35.9	3.6
道路輸送機器	16,038	17,031	11.1	6.2	17,452	18,278	11.6	4.7
乗用車	7,080	8,047	5.2	13.6	8,284	8,825	5.6	6.5
自動車部品	4,669	4,425	2.9	△5.2	5,439	5,731	3.6	5.4
電気・電子機器	11,232	11,025	7.2	△1.8	10,481	10,751	6.8	2.6
一般機械	9,199	9,770	6.4	6.2	8,662	8,767	5.5	1.2
産業用機械	9,015	8,957	5.8	△0.6	4,797	4,840	3.1	0.9
原動機	7,012	7,271	4.7	3.7	4,360	4,428	2.8	1.5
通信機器	2,527	2,056	1.3	△18.6	3,992	3,970	2.5	△0.5
原料別製品	32,919	31,915	20.8	△3.1	24,998	24,469	15.5	△2.1
金属製品	8,280	8,227	5.3	△0.6	6,755	6,898	4.4	2.1
鉄製品	8,396	7,743	5.0	△7.8	4,798	4,153	2.6	△13.4
化学品	19,897	21,690	14.1	9.0	21,193	21,870	13.8	3.2
医薬品	9,359	11,249	7.3	20.2	9,033	9,907	6.3	9.7
雑製品	16,968	17,374	11.3	2.4	22,994	23,707	15.0	3.1
食品・動物・飲料・たばこ	10,909	11,659	7.6	6.9	11,159	11,691	7.4	4.8
原料	4,879	4,741	3.1	△2.8	6,397	6,123	3.9	△4.3
コルク・木材	1,803	1,747	1.1	△3.1	1,567	1,427	0.9	△8.9
燃料・エネルギー	3,274	3,575	2.3	9.2	12,755	12,360	7.8	△3.1
原油・石油製品	1,945	1,952	1.3	0.4	7,859	7,947	5.0	1.1
天然ガス	384	421	0.3	9.5	3,040	2,575	1.6	△15.3
総額（その他含む）	150,071	153,788	100.0	2.5	156,056	157,973	100.0	1.2

〔注〕EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

〔出所〕オーストリア統計局

輸出の内訳をみると、機械・輸送機器（52.5%）が7.1%減で、うち乗用車（10.9%）が12.9%減だった。原料別製品（13.2%）が11.2%減、うち鉄鋼（4.3%）がトランプ政権の通商政策の影響を受け24.3%減と大幅に減少した。一方、アジア大洋州（8.5%）は7.9%増となったが、化学品（12.0%）が4割増と伸びた中国（2.9%）が10.0%増となったことなどにより、米国への輸出減を中国が補った格好となった。

輸入を品目別でみると、最大品目

である機械・輸送機器（構成比35.9%）が、道路輸送機器（11.6%）の前年比4.7%増などにより、3.6%増となった。また、化学品（13.8%）の3.2%増も輸入全体を押し上げた。一方で、鉄製品（2.6%）が13.4%減と大きく減少したことにより、原料別製品（15.5%）は2.1%減となった。

輸入を国・地域別でみると、EU（構成比70.1%）は前年比0.4%増にとどまった。そのうち最大の輸入元のドイツ（35.0%）は1.0%減となり、その内訳をみると、機械・輸送機器（38.8%）が0.9%減、原料別製品（17.8%）が2.2%減と全体の足を引っ張った。一方で、食品（7.1%）は4.5%増と堅調に伸びた。フランス（2.7%）も1.7%減と減少した。他方、2位の輸入元であるイタリア（6.6%）は4.3%増と伸びをみせた。このほか、ポーランド（3.0%）が11.2%増と大きく伸長、EUではこの2カ国からの輸入増が顕著だった。

EU域外では、アジア大洋州（11.5%）が6.0%増と好調であった。中国（6.2%）が7.8%増、ASEAN（2.1%）が14.5%増と牽引した。また、米国（4.5%）も18.8%増と大幅に伸びた。化学品（45.8%）が24.0%増、機械・輸送機器（32.4%）が15.1%増と主要品目の大幅な増加による。

2020年に入って、オーストリアの貿易は世界的な新型コロナウイルス感染拡大防止による制限措置のため大幅に減少している。オーストリア国立銀行（OeNB）によると、第1四半期の輸出は前年同期比4.8%減となった。また、4月は前年同月比22.6%減、5月は16.9%減、6月は10.6%減となり、第2四半期は前年同期比16.8%減にまで落ち込んだ。

■対内外直接投資ともに大幅増加

オーストリア国立銀行によると、2019年の対内直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は41億4,700万ユーロで、前年の17億6,600万ユーロを大幅に上回った。対外直接投資額も94億4,900万ユーロで、前年の49億7,200万ユーロから倍増した。

2019年の対内直接投資を国・地域別でみると、EUからの投資は31億9,400万ユーロを記録し、そのうちドイツが22億5,800万ユーロ、ルクセンブルクが13億2,100万ユーロだった。一方で、英国は15億

表2 オーストリアの主要国・地域別輸出入

	輸出(FOB)			輸入(CIF)				
	2018年 金額	2019年 金額	構成比	伸び率	2018年 金額	2019年 金額	構成比	伸び率
EU	104,943	107,211	69.7	2.2	110,320	110,770	70.1	0.4
ユーロ圏	78,051	79,154	51.5	1.4	87,327	87,352	55.3	0.0
ドイツ	45,235	45,143	29.4	△0.2	55,850	55,305	35.0	△1.0
イタリア	9,762	9,759	6.3	0.0	9,955	10,387	6.6	4.3
フランス	6,411	6,728	4.4	4.9	4,283	4,209	2.7	△1.7
スロバキア	3,185	3,192	2.1	0.2	3,499	3,283	2.1	△6.2
非ユーロ圏	26,817	27,946	18.2	4.2	22,993	23,418	14.8	1.8
ハンガリー	5,114	5,614	3.7	9.8	4,192	4,300	2.7	2.6
チェコ	5,666	5,427	3.5	△4.2	6,789	6,680	4.2	△1.6
ポーランド	4,779	5,181	3.4	8.4	4,196	4,665	3.0	11.2
英國	4,198	4,498	2.9	7.2	2,869	2,808	1.8	△2.1
アジア大洋州	12,053	13,010	8.5	7.9	17,141	18,170	11.5	6.0
中国	4,055	4,461	2.9	10.0	9,110	9,825	6.2	7.8
ASEAN	1,875	1,982	1.3	5.7	2,836	3,246	2.1	14.5
日本	1,529	1,613	1.0	5.5	2,240	2,248	1.4	0.3
インド	924	923	0.6	△0.1	946	1,023	0.6	8.2
米国	10,601	10,245	6.7	△3.4	5,984	7,112	4.5	18.8
イスラエル	7,013	7,263	4.7	3.6	6,802	6,071	3.8	△10.7
ロシア	2,105	2,363	1.5	12.3	3,291	2,762	1.7	△16.1
アフリカ	1,822	1,993	1.3	9.4	2,127	2,216	1.4	4.2
カナダ	1,226	1,278	0.8	4.2	339	403	0.3	18.7
ブラジル	833	758	0.5	△9.0	454	358	0.2	△21.2
合計(その他含む)	150,071	153,788	100.0	2.5	156,056	157,973	100.0	1.2

〔注〕①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

②アジア大洋州はASEAN+6（日本、中国、韓国、オーストリア、ニュージーランド、インド）

に香港および台湾を加えた合計値。

〔出所〕オーストリア統計局

2,900万ユーロの引き揚げ超過に転じた。EU以外では、日本が16億4,000万ユーロ、ロシアが16億2,400万ユーロと前年から大きく拡大した一方、米国は23億200万ユーロの引き揚げ超過となつた。

オーストリア経済振興会社（ABA）は、2019年に前年比107件増となる462社の外国企業を誘致した。投資総額は11億1,600万ユーロ増の18億5,000万ユーロ、雇用創出数は2,008人増の4,896人になった。誘致企業の3割はドイツからで143社、イタリアが45社で続いた。英国からの企業が24社で前年の14社から大きく増加した。中・東欧からは全体の約5分の1となる89社が進出し、そのうちハンガリーとスロベニアがそれぞれ14社と最も多かった。

2019年の対外直接投資を国・地域別でみると、EUが38億2,600万ユーロ、アジアが42億1,100万ユーロと、この2地域向けが大半を占めた。欧州では19億5,800万ユーロのドイツ、11億2,500万ユーロのルクセンブルクが主な投資先となった。アジアでは、マレーシアが8億6,300万ユーロと大きかった。その他、アラブ首長国連邦が19億1,900万ユーロと目立った。

**表4 オーストリアの主な対内直接投資案件（2019年～2020年5月）
(M&A以外)**

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
自動車	BMW	ドイツ	2020年5月	3億7,400万ユーロ	BMWは、オーバーエースタライヒ州のエンジン工場に対し、2019年通年で3億7,400万ユーロを投資したと発表。
医薬品	ファイザー	米国	2019年8月	5,000万ユーロ	米薬品大手ファイザーは、オルト・アン・デア・ドナウにワクチンの品質管理センターなどの建設を発表。
化学	ユングブンツラワー	スイス	2020年2月	非公表	ユングブンツラワーは、ニーダーエスターイヒ州北部にあるキサンタンガムの生産施設を拡大した。
金融	N26	ドイツ	2019年10月	非公表	オンライン銀行を展開するN26は、ウィーンに技術革新センターを開設した。

（M&A）

被買取企業（事業）	買取企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍		
医薬品	テーミス	MSD	米国	2020年5月	医薬品大手メルク傘下のMSDは、2020年5月にワクチン開発・製造のテーミスの買収を発表。短期的には新型コロナウイルスのワクチン開発を行う。同年6月に買収完了。
軍事機器	ヒルテンベアガー・ディフェンスグループ	HDT・ペデルミ・イバリ	ハンガリー	2019年11月	ハンガリー国営企業のHDT・ペデルミ・イバリは、オーストリアのヒルテンベアガー・ディフェンスグループの買収を発表。ハンガリー防衛産業の発展を図る。
不動産	シグナ・プライムセクション	FFP	フランス	2019年6月	投資会社のFFPは2019年6月に、オーストリアやドイツ、イタリア等に不動産を多数所有する不動産会社のシグナ・プライムセクションの株式5%を取得した。
精密機器	ams	ノールズ	米国	2019年12月	精密機器製造のノールズは、オーストリアのセンサーメーカーamsからMEMSマイクの電子部品事業を取得したと発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

■対日貿易、輸出入ともに増加

オーストリアにとって日本は輸出で19位、輸入で15位と、アジア大洋州で中国に続く第2の貿易相手国だ。2019年の対日輸出額は前年比5.5%増の16億1,300万ユーロ、対日輸入額は0.3%増の22億4,800万ユーロといずれも過去最高額となった。対日貿易赤字は前年の7億1,100万ユーロから6億3,500万ユ

**表3 オーストリアの国・地域別対内・対外直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)
(単位：100万ユーロ)**

	対内直接投資		対外直接投資	
	2018年	2019年	2018年	2019年
	金額	金額	金額	金額
EU	6,881	3,194	△819	3,826
ユーロ圏	6,415	4,919	△845	3,529
ドイツ	4,344	2,258	△1,653	1,958
ルクセンブルク	376	1,321	1,571	1,125
オランダ	758	1,008	△973	471
フランス	△49	466	72	94
イタリア	385	25	569	△56
非ユーロ圏	466	△1,724	27	297
ハンガリー	16	26	△566	△346
英國	390	△1,529	△91	△21
スイス	△100	299	1,576	549
ロシア	△877	1,624	5	154
トルコ	5	100	176	13
アラブ首長国連邦	△941	△265	900	1,919
日本	139	1,640	9	17
中国	119	22	529	304
マレーシア	n.a.	n.a.	27	863
インド	35	23	119	109
米国	△3,452	△2,302	1,410	500
ブラジル	△1,984	479	147	△10
アフリカ	181	69	△60	55
合計（その他含む）	1,766	4,147	4,972	9,449

〔注〕2019年は暫定値。

〔出所〕オーストリア国立銀行

表5 オーストリアの主な対外直接投資案件（2019年～2020年3月）

（M&A以外）

業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
流通	XXXLutz	ドイツ	2020年2月	1億ユーロ	家具大手XXXLutzは、エアフルト市にeコマース用の流通センターの建設を発表。2020年夏に稼働開始予定。
包装	ドゥナパック	ハンガリー	2020年1月	5,200万ユーロ	包装資材製造のドゥナパックは、ブダペスト南部に工場の建設を発表。2021年に稼働する予定。
包装	アルプラ	南アフリカ共和国	2020年3月	非公表	包装資材製造のアルプラは、ヨハネスブルク周辺で新しい製造拠点の建設を発表。2021年夏に稼働開始予定。
化学	ミュンツァー	インド	2019年2月	非公表	オーストリア最大手のバイオディーゼル製造メーカーであるミュンツァーは、インドのムンバイ近郊にバイオ燃料の精製プラントを建設した。

（M&A）

買収企業	被買収企業（事業）			時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
OMV	石油	アブダビ国営石油会社（ADNOC）	アラブ首長国連邦	2019年7月	24億3,000万ドル	2019年1月にアブダビ国営石油会社（ADNOC）から同社製油所の株式15%を取得したことを発表。同年7月に戦略的パートナーシップ契約を締結。
ピーラーインダストリー	機械	SHW	ドイツ	2019年6月	3,150万ユーロ	ドイツの自動車部品メーカーSHWの24.7%の株式を取得したと発表。持ち分を75.1%にまで拡大。
S&T	ソフトウェア	AISオートメーション	ドイツ	2019年11月	非公表	ソフトウェア開発などを手掛けるAISオートメーションの買収により、提供するデジタル化やインダストリー4.0、IoTソリューションの拡大を図る。
アンドリップ	機械	ケムバルプ	スウェーデン	2019年8月	非公表	スウェーデンの化学バルプ製造メーカーであるケムバルプを買収したと発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

口に縮小した。

対日輸出を品目別でみると、最大品目である機械・輸送機器（構成比45.4%）の伸びは前年比0.6%増にとどまったが、そのうち自動車（21.0%）が6.7%増、電気・電子機器（3.5%）が21.2%で堅調に伸びた一方、産業用機械（5.3%）が5.6%減となった。シェアは小さいが原動機（1.9%）も40.5%減と大きく減少した。原料別製品（18.7%）が8.0%増と堅調に推移したほか、食品・動物（4.8%）も23.7%増と増加が目立った。

日本からの輸入を品目別でみると、全体の7割を占める機械・輸送機器（構成比70.0%）は前年比2.1%増となった。そのうち自動車（26.3%）が4.0%増、産業用機械（11.7%）が10.5%増と好調であった一方、電気・電子機器（12.3%）が8.4%減、一般機械（4.7%）が11.2%減と低迷した。化学品（11.9%）は医薬品（0.8%）が49.3%減と半減したため、6.3%減となった。

オーストリア国立銀行によると、2019年の日本からの直接投資受け入れ額は16億4,000万ユーロと、前年の1億3,900万ユーロから大幅に增加了。対外直接投資も1,700万ユーロと前年から倍増した。

日本からの主な大型投資は、武田薬品工業による2019年1月のアイルランドのシャイアーの買収である。同買収によって、武田薬品工業はシャイアーのオーストリア国内生産施設・人員を確保し、従業員4,500人と日系企業の中でも有数の規模を誇る。

表6 オーストリアの対日主要品目別輸出入（通関ベース）

（単位：100万ユーロ、%）

	輸出（FOB）			輸入（CIF）				
	2018年 金額	2019年		2018年 金額	2019年			
		金額	構成比	伸び率	金額	構成比		
機械・輸送機器	728	732	45.4	0.6	1,541	1,573	70.0	2.1
自動車	317	339	21.0	6.7	569	592	26.3	4.0
一般機械	96	98	6.1	1.9	120	107	4.7	△11.2
産業用機械	90	85	5.3	△5.6	238	263	11.7	10.5
電気・電子機器	46	56	3.5	21.2	301	276	12.3	△8.4
原動機	52	31	1.9	△40.5	88	92	4.1	4.5
通信機器	15	17	1.0	13.2	66	73	3.2	9.6
原料別製品	279	302	18.7	8.0	142	143	6.3	0.2
金属製品	125	131	8.1	4.3	35	37	1.7	6.3
鉄製品	17	26	1.6	51.1	36	28	1.2	△21.9
雑製品	140	185	11.5	31.9	243	233	10.4	△4.2
計測機器	64	79	4.9	23.8	135	115	5.1	△14.9
カメラ・光学機器	5	5	0.3	△11.1	50	44	2.0	△12.0
雑工業製品	43	73	4.5	70.6	54	70	3.1	29.5
化学品	160	171	10.6	6.7	286	268	11.9	△6.3
医薬品	75	96	6.0	28.1	35	18	0.8	△49.3
有機化学製品	10	13	0.8	24.1	109	99	4.4	△9.7
原料	111	111	6.9	0.0	7	8	0.4	17.7
コルク・木材	95	93	5.8	△1.5	0	0	0.0	1,685.8
食品・動物	62	77	4.8	23.7	3	5	0.2	42.5
飲料・たばこ	11	12	0.8	9.8	2	2	0.1	21.5
合計（その他含む）	1,529	1,613	100.0	5.5	2,240	2,248	100.0	0.3

〔出所〕オーストリア統計局

主要経済指標

		2017年	2018年	2019年
①人口：890.3万人（2020年）				
②面積：8万3,883km ²	④実質GDP成長率（%）	2.5	2.4	1.6
③1人当たりGDP：5万277ユーロ (2019年)	⑤消費者物価上昇率（%）	2.2	2.1	1.5
	⑥失業率（%）	5.5	4.9	4.5
	⑦貿易収支（100万ユーロ）	△5,603	△5,985	△4,316
	⑧経常収支（100万ユーロ）	5,747	8,984	10,460
	⑨外貨準備高（グロス） (100万ユーロ)	9,894	11,653	9,906
	⑩対外債務残高（グロス） (100万ユーロ)	289,879	285,267	280,426
	⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.8852	0.8468	0.8933

〔注〕④：2019年は暫定値

〔出所〕①②⑦⑩：オーストリア統計局、③：世界銀行、④⑤⑥⑧：オーストリア国立銀行、⑨⑪：IMF

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp